

川上ダム通信

2016
10
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL:0595-52-1661 (代)

Vol. 133
Since 2005

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somul@lily.ocn.ne.jp>

近畿地方整備局河川部長が川上ダムを視察 三重県地域連携部長

8月30日(火)、三重県地域連携部の服部部長、辻副部長はじめ計5名の方々が川上ダム建設事業の視察のため来所されました。ダムができる地点の直上流にある西之澤橋において、事業全体の進捗状況および今後の進め方について説明を行いました。さらに、三重県と共同で実施している付替県道青山美杉線について、鋭意進めていることを確認いただきました。

翌31日(水)には、国土交通省近畿地方整備局河川部の井上部長はじめ3名の方々が視察に訪れました。ダムサイト(ダム堤体の建設予定地)右岸側の広場から事業地内を見渡し、事業の進捗について説明し、今後の進め方などについて意見を交わしました。

付替県道青山美杉線の平成29年度全線供用に向けて工事を進めるとともに、一日も早い川上ダムの完成を目指し、国土交通省、三重県をはじめとする関係機関との連携を密にして事業を進めてまいります。



西之澤橋からの視察(三重県地域連携部長)



ダムサイト右岸からの視察(近畿地方整備局河川部長)



ダムサイト右岸から見た川上ダム事業地内

【工務課 小谷口雅義】

工事の進捗状況 ～付替県道青山美杉線～

付替県道青山美杉線の工事について進捗状況をお知らせします。現在、右図にある「工事区間」で長さ約350mの道路を作っています。

この工事区間では、土を盛り上げて道路を作る区間と土を切り取って道路を作る区間があります。

土を盛り上げていく区間は、6月号で紹介した補強土壁と呼ばれる工法で道路を作っています。土を切り取って道路を作る区間は、切り取り作業が終わり、道路両側に雨水を排水するための側溝の設置が完了しました。

今後は、さらに土の盛り上げを行い、舗装作業やガードレール等の安全施設設置作業を行います。



土を盛り上げて道路を作る区間



土を切り取って道路を作る区間

日々変わっていく工事現場ですが、平成29年3月の完成に向け、順調に工事は進んでおります。

青山美杉線の開通を待ち望んでいる方々には長らくご不便をおかけして申し訳ありません。安全快適な道路の完成に向けて、もうしばらくご理解とご協力をお願いします。

【工事課 濱口浩】

調査実施のお知らせ～降下ばいじん量等調査～

当建設所では、川上ダム建設予定地周辺において、降下ばいじん量（空気中に含まれるすす等の微粒子の量）、騒音量及び振動量を把握する調査を実施いたします。

今回の調査ではダム建設工事前のデータを把握することを目的としています。また、建設工事中は工事前のデータと比較しながら監視をしていきます。

調査は位置図に示す調査場所（●）で実施し、期間は平成28年10月から1年間調査行う予定です。調査にあたり、写真のような器具を現地に設置します。

調査実施に伴う交通規制等はありませんが、周辺住民の皆様におかれましては、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。



降下ばいじん量調査
器具設置イメージ



騒音・振動調査
器具設置イメージ



位置図

【調査設計課 山本晃世】

大規模地震に備えて地震防災訓練を実施

水資源機構では、地震に関する防災意識・対応能力の向上を図ることを目的として、毎年9月1日の「防災の日」に地震防災訓練を実施しています。

今回は、通勤時間帯に大規模地震が発生して、庁舎が被災し、電気等のライフラインが断絶されたという想定で訓練を行いました。訓練では、防災本部を設営するための発動発電機を利用した電源確保や通信機器の設置、被災状況を把握するための巡視や無線機器を利用した情報伝達等を行い、地震発生後に実施すべき作業や手順を確認しました。



防災本部長から下の巡視指示



発動発電機の始動訓練

また、9月号でご紹介したとおり、当建設所は今年の6月から防災業務に係る地域との連携を進めるために、市町村等との連絡窓口「地域防災連携窓口」を設置しております。今回の訓練では、地元自治体から地震被害に伴う物資提供依頼を受けたことを想定して、必要物資の積み込みや運搬訓練を行いました。

今回の訓練の成果や反省を踏まえて、今後も地震を含めた災害発生時に迅速な対応ができるよう、より一層の防災意識の向上、体制の強化を図ってまいります。

【工務課 渡辺高志】

24 環境用語集

気象庁の9月9日付けエルニーニョ監視速報によると、8月はラニーニャ現象が発生しているとみられ、今後冬にかけてラニーニャ現象が続く可能性が高いと発表されました。

そこで環境用語集第24回目は、**ラニーニャ現象**について説明します。あわせて**エルニーニョ現象**（2012年10月号の環境用語集で紹介）についても復習します。

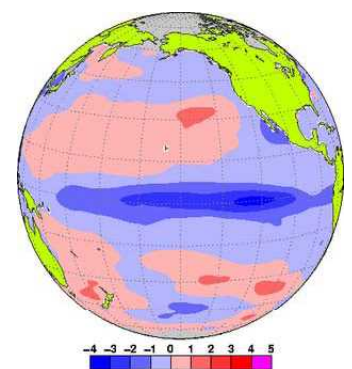
ラニーニャ現象は、「東部太平洋赤道域で海面水温が平年より**低**くなり、半年から1年半程度続く現象※」です。**エルニーニョ現象**は、「東部太平洋赤道域で海面水温が平年より**高**くなり、半年から1年半程度続く現象※」です。

それぞれが数年に1度発生しており、近年は2014年夏頃から2016年春頃にかけて**エルニーニョ現象**の発生が確認されたとのことです。

どちらの現象も地球規模の異常気象をもたらしますが、**ラニーニャ現象**発生時には、秋の台風の発生位置が平常時と比べ西にずれ、台風の発生から消滅までの寿命が短くなる傾向があります。※

また、寒冬になりやすいともいわれており、市民生活や農作物への影響が心配されます。

今後の気象の変化が気になるところです。 ※箇所「気象庁HP引用」



1998年12月の
月平均海面水温平年偏差※
(ラニーニャ現象発生時)
(平年偏差: 気温の平年値との差)

【環境課 清水杏子】



開業100周年を迎えた伊賀線を満喫！！

今年8月に開業100周年を迎えた伊賀線は、JR関西本線と連絡する伊賀上野駅から、近鉄大阪線と連絡する伊賀神戸駅の間を結ぶ路線距離約17kmの電気鉄道です。1916年（大正5年）の開業以来、現在も地域住民の方々の重要な交通手段となっています。

そんな歴史ある伊賀線には、立派な土木構造物が多数あります。なかでも筆者のお気に入り、伊賀神戸駅と比土駅の間にある、一級河川木津川の横断橋、桑町駅と茅町駅の間にある、赤れんが橋です。特に赤れんが橋は、伊賀上野駅、上野市駅とともに「日本の近代土木遺産—現存する重要な土木構造物2800選」（土木学会）に選ばれています。

また、伊賀線は一部区間・日時を除いて自転車が車内に持込みが可能な「サイクルトレイン」を運行しており、茅町駅には無料のレンタサイクルがあります。自転車に乗りさわやかな秋風を感じながら、伊賀線沿線の歴史散策を満喫するのはいかがでしょうか。



祝！！開業100周年



木津川を渡る電車



赤れんが橋をくぐる電車を激写！

【調査設計課 山本晃世】

イベントのお知らせ

第70回芭蕉祭

開催日：10月11日（火）～10月12日（水）

開催場所：上野公園

お問い合わせ：（公財）芭蕉翁顕彰会
0595-21-2219

第12回ふれあいフェスタ in 青山

開催日：10月16日（日）

開催場所：伊賀市青山支所周辺

お問い合わせ：上津地区住民自治協議会
0595-52-0710

種生神社秋祭り

開催日：10月22日（土）～10月23日（日）

開催場所：種生神社

お問い合わせ：伊賀市役所 青山支所 振興課
0595-52-3220

上野天神祭

開催日：10月23日（日）～10月25日（火）

開催場所：上野天神宮、伊賀市街地、三筋町等

お問い合わせ：上野天神祭地域振興実行委員会
0595-21-0527

9月の転入者のご紹介

所属	氏名	異動元
調査設計課	徳永 倫一	豊川用水総合事業部(愛知)

編集後記

朝晩の気温が徐々に下がり、秋の気配を感じる季節となりました。

秋といえば、よく「〇〇の秋」と表現されますが、皆様はどのような秋を過ごす予定ですか？

私は、夏に成長した自分のおなかと向き合った結果、「スポーツの秋」とし、伊賀上野シティマラソンに参加する決意を固めました。

【広報誌発行事務局】

編集長	加納（所長）	
デスク	大西（総務課長）	小谷口（工務課長）
記者	谷村（総務課）	富士澤（第一用地課）
	八重樫（第二用地課）	山本（調査設計課）
	清水（環境課）	小野（工務課）